

『12月県議会』でも議員提案条例を可決・成立しました。

2022年『12月定例会』は、12月1日～12月20日までの20日間の会期で開かれました。開会日には、補正予算議案2件、条例議案12件、契約議案10件、その他の議案5件、計29議案が議会に提案されました。また、12月13日には国の補正予算成立に伴う補正予算議案2件が追加提案されました。

今議会では、「福岡県営住宅条例の一部を改正する条例」を含む、県政に係る条例を可決しました。

12月20日の最終日には、議員提案条例となる「福岡県議会の保有する個人情報の保護に関する条例」を可決しました。

2022年度12月補正予算第1次・2次を可決。

今回、2022年『12月県議会』に上程された議案のうち、補正予算は第1次補正、第2次補正と合わせ、総額で850億6,000万円となりました。

1. 「2022年度12月補正予算」（第1次）： 154億700万円

○地域経済の活性化と成長・発展に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、医療提供体制を強化。

○県議会議員選挙、人事委員会勧告に基づく給与改定に必要な経費を計上

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/178465.pdf>

【主な歳出】

- ・地域経済の活性化と成長・発展 44億6,000万円
- ・新型コロナウイルス感染症対策 38億7,500万円

**2. 「2022年度12月補正予算」（第2次）： 696億5,300万円**

○国の補正予算を最大限活用し、「地域経済の活性化と成長・発展」に取り組むとともに、「次代を担う『人財』の育成」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「安全・安心の確保」に必要な経費を計上。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/179864.pdf>

【主な歳出】

- ・地域経済の活性化と成長・発展 168億3,700万円
- ・次代を担う「人財」の育成 2億2,400万円
- ・新型コロナウイルス感染症対策 14億7,200万円
- ・安全・安心の確保 511億2,000万円

**服部知事とともに県政発展に尽くします！**

服部誠太郎知事は、2021年4月の知事選で初当選以来、災害対策、コロナ対策はもとより、県民のいのちとくらしを守り、県政発展に尽力されています。今後とも服部知事とともに県政発展に尽力して参ります！

＜原中まさしと

SNSでつながりましょう！＞



ホームページ



Twitter



YouTube



Instagram